

令和7年竹田市教育委員会第12回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年12月5日（金）午後2時56分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1番委員 岡 茂樹
2番委員 佐藤 健吾
3番委員（教育長職務代理者） 進 みづほ
4番委員 吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 廣瀬 恵三
学校教育課長 渡部公比古
生涯学習課長 橋本 一彦
まちづくり文化財課長兼 佐藤 俊郎
歴史文化館長
竹田中央学校給食共同調理場長 後藤 誠郎
事務局員 教育総務課課長補佐 古澤 邦利
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第11回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
(4) 報告事項
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(7) 連絡事項
(1) 12月幼・小・中行事予定表
(2) 12月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後2時56分〕

- 廣瀬教育総務課長 委員の出席状況です。教育長及び委員4名出席、傍聴者はありません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから第12回定例会を開会します。第11回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 廣瀬教育総務課長 11月5日、教育委員会定例会。6日、学校訪問3日目。10日、県の市町村教育長会議兼教育情報化推進本部会議。12日、学校訪問4日目。13日、B&G全国教育長会議。14日、全国史跡整備市町村協議会臨時大会。17日、学校訪問5日目、学校給食用にんじん贈呈式。18日、竹田支援学校訪問、税の作文表彰、久住高原農業高校 学校運営協議会。19日、ボッチャ大会、管内教育長会議、バードクロツィンゲン市との交流35周年事業は19日に対面式。21日に式典、レセプションが行われました。20日、学校給食用野菜無償提供贈呈式、税の作文表彰。22日、豊肥地区解放文化祭。24日、人権映画上映会。25日、校長・所長会議。27日、定例課長会議、教育支援委員会。30日、竹田市駅伝競走大会。12月1日、市議会第4回定例会本会議。2日から3日、岡城跡調査整備委員会。5日、第12回教育委員会定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは、次に移ります。本日の審議事項ありません。また、報告事項及び協議事項もありませんので、連絡事項をお願いします。教育総務課長。
- 廣瀬教育総務課長 その前に1点、資料の訂正をお願いします。教育長報告の中で、11月21日の友好都市バードクロツィンゲン市交流35周年記念式典のレセプションの会場がグランツ竹田と表示されています。これが、ホテル岩城屋ということで、修正をお願いいたします。
- それでは、連絡事項です。(1)、12月の幼稚園・小・中学校の行事予定表です。1日、城原小3年の醤油づくり体験。2日、豊岡小、白丹小、都野小の持久走大会。4日、祖峰小の持久走大会。5日、南部小、久住小の持久走大会。6日、竹田南部中、緑ヶ丘中、直入中の強歩大会。11日、竹田小6年「たばこについて考える」教室、祖峰小の俳句教室。19日、白丹小のもちつき大会。20日、祖峰小のふれあい餅つき大会、竹田中の校内強歩大会。23日、祖峰小、竹田中の2

学期終業式、24日、2学期終業式。29日から31日まで年末休暇。3ページ、12月の教育委員会関係日程（予定）表です。12月5日、教育委員会定例会。6日、歳末助け合いチャリティーショー。7日、大分都市広域連携小中学生交流竹田大会。8日、9日、市議会一般質問。8日、全国大会出場報告および優勝報告。12日、市議会本会議・予算特別委員会、特別支援教育振興大会。14日、雪っこカーニバル in 久住。16日、全国大会出場報告、直入中学校保護者意見交換会。17日、市議会社会文教委員会。18日、校長・所長会議、行革推進本部会議、全国大会出場報告。19日、市議会本会議。22日、サフラン終業式。23日、祖峰小、竹田中の終業式。24日、その他の学校の終業式。25日、定例課長会議。26日、仕事納め式。29日から1月3日まで年末年始の休暇。1月6日、令和8年新年互礼会。7日、荻地域新年を祝う会。8日、3学期始業式。9日、令和8年教育委員会第1回定例会、久住地域新年互礼会。（3）今後の主な予定です。令和8年竹田市新年互礼会は、1月6日（火）10時から竹田市総合社会福祉センターで開催。後日、担当課から案内がある予定です。令和8年教育委員会第1回定例会は、1月9日（金）15時から市役所2階庁議室で開催します。令和8年竹田市二十歳の集いは、1月11日（日）13時からグランツたけた 廉太郎ホールで開催します。後日、担当課から案内があります。教育委員会第2回定例会は、2月5日（木）15時から市役所2階庁議室で開催されます。以上です。

志賀教育長

それでは、質疑等ありませんか。
連絡事項についてよろしいでしょうか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

ないようですので、その他各課からお願いしたいと思います。まず、廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

はい。教育総務課です。11月25日の夕方の地震発生に伴いまして、翌日26日に予定しておりました、旧久住中学校の備品のせり売りについては急きよ、延期することを決定しました。延期後の日程は1月を予定しております。あらためて市報、ホームページ等でお知らせする予定です。次に学校統合についてです。直入中学校の統合については、目標年度を令和8年4月として協議をお願いしていましたが、期日も迫り、現実的には困難ということで、目標年度の延期をお願いするようにしました。延期後の期日は令和9年4月または令和10年4月としています。11月10日に直入中学校の保護者会役員の方に変更のお話をしました。また12月16日に保護者との意見交換会（本年度2回目）を開催することとなりましたので、その際、目標年度の延長と継続協議をお願いする予定です。日にちが前後しますが、11月28日（金）に直入小学校のPTA総会が開催されるということで、私と学校教育課長で伺い、本年度の話し合いの経過と目標年度の変更についてお話をしてきました。情報を共有していただいたものと考えています。城原小学校と竹田小学校の統合にかかる話し合いにつきましても、11月20日に竹田小学校のPTA役員会が開催されるということで、これまでの経過について、主に城原小学校の保護者の皆さんとの協議の経過について、竹田小学校の役員の皆さんに説明を行い、現状を共有していただきました。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。学校教育課からは4点お願いします。

まず、最初に、お手元の方に、学校訪問のまとめをお配りしております。昨年は議事録のような形で、1字1句起こしてまとめているようにありますが、本年度は、全教育委員さんが、全日程参加されましたので、もう同じ場にいましたので、重要な項目を箇条書きで起こしております。また後程ご覧になっておいてください。

続いて、インフルエンザに伴う学級閉鎖の状況ですが、直入中2年生と久住小2年生が12月3日、4日の2日間の学級閉鎖を行っていました。また、直入小の6年生は4日、5日の今日までの閉鎖を行っております。各学校では手洗い・うがい・換気・加湿を呼び掛けております。

次に、11月26日に予定されていた世界かんがい遺産認定記念式典は前日に発生した地震により中止となりましたが、荻小・城原小・祖峰小に依頼していた児童の発表は、1月21日にグランツたけたでケーブルテレビの収録を行い、後日、市から感謝状の贈呈を行う予定にしています。

最後に、今年度予算措置された英検の受験料補助に伴う実績についてご報告いたします。英検は年3回実施されていますが、第3回目は来年1月実施となっていますので、第2回までの実績となります。

受験者は104人、合格者は73人となっています。特に準2級に3名が合格するという素晴らしい結果も見られました。昨年の2回目より受験者が29人増加していること、3級以上の受験者が9人増加していることが成果として見られます。以上です。

志賀教育長

橋本生涯学習課長。

橋本生涯学習課長

先日の市駅伝競走大会にご臨席いただき感謝申し上げます。市駅伝競走大会では15チームの参加があり、総合優勝及びA部優勝が久住Aチーム、B部優勝は宮砥チーム、C部優勝が久住Bチームでした。沿道では多くの市民の皆様に応援いただき、盛会裡に終了することが出来ました。どうもありがとうございました。

生涯学習課からは3点報告いたします。

1つ目は、令和8年竹田市二十歳の集いを、令和8年1月11日(日)13時から、グランツたけた廉太郎ホールで開催します。対象者数は12月1日現在、170名となっています。また、それに合わせ、昨年からご協力いただいています「ドラマTAO」の新春特別講演への無料招待を今年もしていただきました。開催期日は、1月4日の16時30分、会場はグランツたけた廉太郎ホールです。二十歳の集いの1週間前ということで、なかなか帰省するのは難しいと思われませんが、二十歳の集いの案内に同封し、多くの方の参加をお願いしたいと思います。

教育委員のみなさんには後日ご案内をしますのでご参加をお願いします。

別紙の青いチラシをご覧ください。2つ目は、竹田市の一大イベントとなりました、第37回岡の里名水マラソン大会の出場者募集を11月17日から行っています。今年、3月1日(日)に開催します。1月16日締め切り、フル・ハーフは30分、10キロは20分、スタート時間を繰り上げています。参加者が1,000名を超えるように広報をしていきたいと思っております。

3つ目は全国大会及び九州大会出場報告についてです11月10日に竹田ペタン

ク連盟の石井とも子さん、古井ちよさん、岩下弘子さん、石井潤さん、石井博さん、橋迫國富さん、が全国大会、また、福岡県福岡市で開催されたダンスコンテスト、HEAD HUNTER（ヘッドハンター）2025 決勝大会に出場しました、ダンスアトリエルームドに所属している、都野小学校6年生、衛藤優音さん、竹田小学校6年生、工藤凜音さん、竹田中学校1年生、田部莉乃さん、竹田小学校4年生、工藤湊音さんが九州大会の出場報告に来られました。

ペタンク連盟の6名は、11月15日から大阪府松原市で開催された、第40回日本ペタンク選手権大会の女子トリプルの部、及び男子トリプルの部に出場され、女子チームは3位に入賞しています。

また、衛藤さん、工藤さんはペアダンス部門、田部さん、工藤さんは中学生部門に出場しました。なお、工藤湊音さんは小学4年生ながら中学生部門に出場しております。以上です。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長。

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長

はい。文化財課と歴史文化館から2点お知らせです。

お手元に、～竹田「未来の種まき」基金プロジェクト～というチラシをお配りしています。竹田市出身の南画家田近竹邨さんのご子孫にあたる、田近亜蘭様より、1,000万円のご寄附をいただいております。田近竹邨というのが、1864年から1922年に活躍された方で、幼児より画才に優れ、田能村直入に師事し、京都府画学校に学んだ後、直入が始めた南宗画学校の教授となり、明治から大正期の代表的な南画家の1人として活躍した方です。

令和4年度（2022年度）に、歴史文化館で、没後100年ということで、田近竹邨の特別展をしております。田近陽生様のご意志に基づいて「必ずしもなくてはならないものではないけれども、それがあれば少しだけ楽しく感じられるという類のもの」、「通常、行政の予算がつきにくいもの」、「経常的な経費でないもの」に優先的に使っていただきたいというご意向のもと、市民の皆様の自由な発想と遊び心に満ちた寄付金の活用方法のアイデアを募集しているところです。応募の締め切りが、来年1月5日（月）までで、応募方法、応募先、審査選考等は、裏面にありますので、お知らせと、教育委員の皆様にも、何かアイデアを出していただければと思います。

もう1点です。令和7年度、地域文化功労者表彰に、竹田市の中島貴俊さんが、文化庁の方から表彰されました。功績の概要は、長年にわたり、表具師として、文化財保護に尽力するとともに、大分県立美術館資料評価委員等努め、地域文化の振興に貢献しているということです。今、歴史文化館の評価のお手伝いをしてもらっている方です。以上2点であります。

志賀教育長

後藤給食調理場長。

後藤給食調理場長

はい。給食調理場からは、特にございません。以上です。

志賀教育長

では、図書館について、廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長
（図書館）

はい。図書館です。

タブレットの方に、おはなしひろばのクリスマス会というチラシを入れております。

12月20日（土）におはなしひろばのクリスマス会が開催の予定です。14時から14時30分までの30分間ということで、乳幼児から、未就学児向けのクリスマスの絵本の読み聞かせなどを行う予定であります。お知らせは以上であります。

志賀教育長

はい。それでは、意見、質問等はありませんか。
では、ないようですので、それでは次に教育委員からご意見ご感想等があればお願いします。岡委員からお願いします。

岡委員

はい。私の方から1点だけ活動報告と感想を短く述べたいと思います。先月もいろいろとアンテナを張って活動する中で、一番印象的だったのが、竹田中学校で開かれた公開研究発表会に参加したことです。竹田中は、大分県の学力向上施策の3つの提言の推進重点校に指定されて今年が3年目ということで、市内外から多くの教育関係の方々が集まっておりました。今回初めて最初から最後まで公開授業拝見して、そのあとの研究協議まで参加させていただきました。出席した授業は3年生の国語で、テーマは「比較しながら読み、自分の生活とAIについて考えよう」というものでした。個人的にも非常に興味がある内容で、興味深く拝見をさせていただきました。生徒さんの取り組み姿勢も積極的に、グループディスカッションが大変活発だったのと、そのあとの先生同士の研究協議も多角的な視点で真剣に意見が交わされておりました。授業をする側の目で見えた感想が非常に勉強になりましたし、授業を通してどうやって生徒たちの学びを広げ深めるのか、そのための工夫や難しさそしてやりがいというようなものがひしひしと伝わりました。今後、指導主事の方のアドバイスも含めて、この取り組みの成果が、竹田市全体に活かされていくような流れが大切かなと思いますし、今後大いに期待したいと思いました。以上です。

志賀教育長

佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

はい。私からも数点。
まずは、学校訪問です。初めて学校訪問の方に参加をさせていただきました。自分が知っている、自分の子どもが通っていた学校だけではなくて、いろんな地域の学校を見れて、非常に地域色とかが出ていて、非常によかったと思います。特に印象に残ったのは、竹田中と、竹田南部中のTルームと、ステップルームですか。サフランとの連携ですとか、Tルームそれからステップルームがあることによって、不登校の生徒が減る。または、その学校に来れている、すべてとは言いませんけども、結構、いいルームの使い方になっているんじゃないかなというふうな感じを受けました。
それと2点目は、先ほど学校教育課長の方から、英検の受験者数についてお話がありまして、これはちょっと質問にもなるんですけども、104名中73名の合格、準2級が3名ということで、とてもこれすごいなと思ったんですけども、例年に比べての受験者の、受験率といえますか、それと合格率が、もし、分かれば教えていただければと思います。私からは以上です。

志賀教育長

進委員、お願いします。

進委員

はい。私からは3点お願いします。

まずは、学校訪問大変お世話になりました。今回も先生方や子ども達の頑張り
にパワーをもらって、各学校課題や成果を、お話いただきたくさん学びや気
づきをいただきました。1つ、今回の訪問で、去年は少し話題に上がった先生方
の時間外労働についてのお話ができず、部活動の地域展開が少しずつ進んでい
っている中で、週末の先生方の働き方というか、今までの、活動と比べて余裕
ができていいのかとか、その辺をちょっと伺えればよかったかなと、後から思
いました。また、来年はもう少し地域展開も進んでいると思いますので、その
辺りのお話を伺いたいと思います。

あと、次は地震です。先だつての大きな地震の際、次の日に小学校の校長先生
とちょっと話をする機会がありまして、その時に子ども達から、寝付けなかつ
たとか、怖かったという声が上がっていて、心のケアを必要としているので、
していきますというお話で、迅速に対応してくださっていることに安心感を覚
えました。台風とかと違って地震は突然ですし、これだけ大雨とか地震とか、
雷などの自然災害が増えてくると、先生方だけでは大変なこともあると思うの
で、保護者の方の防災意識も高めるとともに、地域の方々ともこうなんですか
ね。支援学校の付近の地域の方がしてらっしゃるような、地域での訓練とか、
そういったのも必要となってくるのかなあなんていうことを考えた地震でし
た。

最後にもう1点です。先日の駅伝大会、大変お疲れ様でした。久住チームの見
事な圧勝で終わったんですが、見させていただく中で、中年の方が、「もう今年
で終わりじゃあもう走らんぞ」と言っているのに対して、違うおじさんが、「あ
んたそげえ毎年言ようじゃねえ」なみみたいな会話があつて、そういう、何かこ
う地域を支えていく、中高年の方々の頑張りを見て、何かこういう行事もやは
り本当に大切だなあと感銘を受けました。私は、子どもたちが竹田を離れても、
ふるさとを思うような子どもになって欲しいなっていうのを常に思っていて、
それには、今ここで暮らしている大人がやっぱりこう竹田を愛して、幸せにと
うか楽しく、過ごすことが大事かなと思っているので、高齢化が進んで行事
の存続等もなかなか難しくなってくるとは思いますが、79回って1口に言っ
ても、とってもすごいことだと思うので、できれば存続して行って欲しいなど
感じました。以上です。

志賀教育長

吉野委員、お願いします。

吉野委員

はい。私も学校訪問の感想を言わせていただきます。

いろんな学校に行くと、先生方は、本当に授業を工夫してらっしゃって、ある
学校で数年前に見て、すごいなという感想を持った授業の進め方が他の学校に
も広がっていたりすることが、よく目につきました。授業の進め方ですとか、
協調学習のスタイルとか、また人権宣言なんかの取り組みが広がっているのが、
私が見て気づく範囲でも結構あつたので、きっと日々、お仕事されている先生
方は、たくさんのことをいろんな学校を経験しつつ、広げたり、共有していかに
れているんだろうなということを考えさせられました。非常に心強いことで、
ますます、いい取り組みはどんどん広がって欲しいなというふうに思いました。
先生方が、研修などで情報交換する機会があるとは思いますが、一方で支
援員の先生というのは、その研修とか情報交換の場というのがあるのかなあと
いうことを少し思いましたので、よければどういう研修がされているとか、
なかなかその支援の内容を話すことは難しいかもしれないんですけど、ノウハ

ウというか、困りごとの共有とかができているのかなというところが気になりました。

もう1つは、南部中に行ったときなんですけど、卒業生の講演を聞いて、中学生が大人って楽しいなという感想を言ってくれた。またやりたいことをやるためには、やりたくないこともやらなければならないという講演の内容に、そこが心に残ったという感想を言ってくれる中学生がいたということを知ったんですけど、直入中でも、この前柔道の専門家の方が来て、授業をしてくれたりしたので、その感想も聞いたりしたんですけど、中学生が、いろんな卒業生による講話や、ゲストティーチャーによる授業の中で、大人の言葉を、ヒントに背中を押してもらったり、夢を持ったりするというのは本当にいいことだなあと思いました。南部中の校長先生が、誰の言葉がその子の人生を変えるかわからないということがあったので、これは専門家やゲストティーチャーに限らず、保護者であったり、地域の人であったりということもあり得るのかなと思いました。また、私の子どもが小学生のときに、研修部で、研修の講師をどういう人と呼んだらいいかというのを考えるときに、たまたまそこで話していた校長先生の話が、非常に興味深くて、もう先生、よその方の講師呼ばなくても先生が話してくれたら保護者は真剣に聞くと申しますということを、本当に大げさでなくてそういうふうにしたことがあるので、学校の先生方や、担任の先生に限らず、管理職の先生であったりとか、いろんな先生方が、ある時間を利用して、子どもたちや保護者に、思いや願いだけじゃなくて自分の経験談ですとか、日常的なことを話してくれたりするのも、きっとヒントがあるんじゃないかなというふうに思ったりしました。以上です。

志賀教育長

ありがとうございます。ただいまの皆様の意見に対して各課から、回答お願いしたいと思います。

まず、佐藤委員からは、英検の合格率について、進委員から、部活動地域展開に伴う教員の働き方について、吉野委員から、支援員の研修の機会について、この3つを、学校教育課長お願いします。

渡部学校教育課長

はい。それでは佐藤委員の英検に関することからいきます。まず、受験率ですが、竹田市の中学生在が、昨年は380人、本年度が370人でした。ということは分母は減っています。分子の部分の受験生ですが、29人増えておりますので、受験率はちょっと計算していませんが、確実に増えております。合格率ですが、これは昨年がもう級にこだわらず、全体の合格率として69%。本年度は70%。ということは、合格率は変わっていません。自分に合った級を受験しているのかなと思います。

次に、進委員からありました残業時間。学校の方では残業時間と言わずに、在校等時間といいます。学校にいる時間という言い方をしますが、これは、毎月集計を行っておりますが、確実に減ってきております。4、5年前から徐々に減ってはきているんですが、そろそろ頭打ち、もう限界かなというところになってきております。よって、この部活動の地域展開が確実に進むこと。さらに、新たな何か施策を打つことが必要かなあと考えているところです。

3つ目、吉野委員からの支援員の研修についてですが、市の方では、年間1回、支援員さんの研修を行っておりますが、これは座学になります。本年度、この反省を生かして、もう1回ぐらいできないかなということで今度は実地。教室の中で、生徒のいる場面で、支援学校の先生、或いは心理士さんの、子どもの扱

い方。これを実際に見てもらいながら、研修が組めないかということを探してあります。さらに、各学校、校内研の方で、特別支援教育については研修を行っておりますので、そこに一緒に入って研修を行っている支援員さんもいます。ただ、これは1つ課題がありまして、会計年度任用職員になりますので、勤務時間が変わってきて、校内圏の時間になかなか全部いられないということもありますので、うまく勤務の時間も工夫しながら、有用な校内研には参加していただく体制を各学校でとってもらうように進めていきたいと思っております。以上です。

志賀教育長

今、学校教育課長から回答ありましたけどよろしいでしょうか。

佐藤、進、吉野委員

はい。

志賀教育長

英検の受検率は、手元で計算すると、昨年が19.7%で、今年が28.1%ぐらいになりそうです。それから、質問ではありませんでしたが、竹田中の公開研究発表会は、非常に、勉強になったということで、市全体に広げることが大切だと、岡委員からのご指摘でした。また、吉野委員も言われましたように、何年か前に見た素晴らしい実践と同じような授業実践を、他校でも見ることができたということです。それは竹田市のいいところだと思っています。

他にないでしょうか。

ないようでしたら、以上で、第12回定例会を閉会します。

ありがとうございました。

<閉会>

[閉会時刻:午後3時35分]